

パブコメ意見例

(注) 下記意見例は、「元気な日本復活特別枠」要望に関するパブリックコメントにおいて、国立大学に係る事業について、「3. その他この事業に対する評価(よい点)」及び「4. その他ご意見」欄に意見を記載する際の参考として、国大協事務局において種々の意見例を作成し、アトランダムに列挙したものであり、適宜ご参照の上、実際の意見の提出に当たっては、各自のお考えに従って記載して頂くようお願い致します。

(事業番号：1905)

(事業名) 「強い人材」育成のための大学の機能強化イニシアティブ

(要望額：1,200億円)

◆国立大学の研究教育基盤強化(国立大学法人運営費交付金)(要望額:630億円)

◆成長を牽引する教育研究基盤強化(国公立大学共通)(要望額:115億円)等

【総論】

(法人・教職員)

○ 我が国が持続的に発展していくためには、従来から国立大学が果たしてきた、我が国の知の創造拠点・高度人材育成拠点としての役割(国際競争力の源としてのナショナルセンター機能と、地域社会・経済を支えるリージョナルセンター機能)をさらに強化充実することが必要である。

しかるに、国立大学の基盤を支える運営費交付金は、法人化後6年間で、当初予算ベースで830億円(率にして6.7%)もの削減が行われ、各大学では、このままでは、遠からず教育の質を保つことが難しくなり、学問分野を問わず、基礎研究や萌芽的な研究の芽を潰すだけでなく、地域医療の最後の砦としての機能が破綻するなど、我が国の高等教育・研究の基盤が根底から崩壊し、回復不可能な事態に立ち至ることが危惧される。そのような事態を回避し、我が国の持続的発展を図るため、今回の要望を含め、国立大学法人運営費交付金の拡充をぜひとも実現して頂きたい。

○ 我が国の成長において、将来を担う人材育成や新たな成長分野を支える研究活動など、大学に期待される役割を果たすためにも、今回提案された要望内容を含め、国立大学法人運営費交付金の充実が必要。

○ 平成16年度以降、国立大学は懸命に経営努力を行いながら、運営費交付金は削減され続けてきた。これ以上の削減は、我が国の学術研究へ支障をきたす、特に単科大学や地方国立大学の教育研究への支障がでることを懸念。

これ以上の削減を止めて、今回の要望内容のように、新たな成長分野へ貢献するような取組を支援すべきと考える。

○ 昨年の行政刷新会議の仕分けにおいて、グローバルCOE、グローバル30など、大学教育の先進的な取組を促す事業が削減されたため、今後の見通しが立てられない状態。

我が国の成長を真剣に考えるのであれば、大学の基盤的経費を充実するとともに、

今回の要望で提案された「博士課程教育リーディングプログラム」や「大学の世界展開力強化事業」など、大学改革を促す取組の支援が非常に重要と考える。

- 大学の運営基盤をしっかりとしないと優れた教育研究活動は担保できない。ついては、大学の運営の足腰を支える国立大学運営費交付金などの経費をきちんと措置すべき。
- 先日発表された世界大学ランキングでは、大学への投資を増やした中国や韓国は 200 位以内にランクインした大学数が増えたが、近年投資を減らした日本はその数が半減している。国際競争力の強化を目指すのであれば、国は大学の運営の基盤となる国立大学法人運営費をはじめその投資を惜しむべきでない。
- 先進諸国と比較し、高等教育への公財政支出が低いわが国の状況は、若者が将来に希望を持つことを阻害し、わが国の活力を削ぐ結果になっている。大学への投資を拡大して、大学の基盤を強化し活性化することがわが国の成長に不可欠である。
- 大学に国内のみならず国外からも人や情報が集まることで、わが国の新たな発展の可能性が生まれる。発展の芽を伸ばし続けるためには、国立大学法人運営費交付金をはじめとした大学の機能強化のための投資を重点的に行うべきである。
- わが国の最大の強みは科学・技術であり、今も世界をリードしているが、これを生み出す原動力は大学が担っていることから、新しい知の創成とイノベーション創出に資する大学、特に国立大学の機能強化のための投資を充実すべきである。
- 国際化社会の中で、日本の大学がもっと国際的に評価されるためには積極的な国際展開が必要であり、この機能強化のためには国立大学法人運営費交付金をはじめとした経費の十分な措置が不可欠である。
- 日本の大学の国際的評価の低下は、優秀な日本人の若者の海外流出=頭脳流出を誘発し、長い目で見てわが国の大きな損出となる。若者に魅力ある、国内外を問わず多くの若者が集う大学づくりを目指し、国は大学の基盤的経費や拠点形成の経費を充実させるべきである。
- 経済危機と不況の時にこそ、新たな知やイノベーションの創出を担う大学への投資が必要不可欠であり、もっと充実すべきである。

(学生・大学院生)

- 研究所の〇〇〇実験に参加していますが、この研究は国立大学法人運営費交付金によって支えられていると聞いている。それによって、われわれは欧米から日本にやってきた研究者が参加する共同研究に携わることができている。莫大な資金が投入されている限りは無駄がないように努力すべきと考えるが、このような世界的なレベルの研究の中で研究を続けられるよう支援していただきたい。

◆国立大学の研究教育基盤強化(国立大学法人運営費交付金)(要望額:630億円)

- ①「新成長戦略」の実現に資する新たな教育研究プロジェクトの推進(100億円)
(グリーン・イノベーション、ライフ・イノベーション等の新たな教育研究の取組)

(教員)

- 「環境・エネルギー問題」、「先端医療」など、社会のニーズや課題に対応する国立大学の教育研究活動について国がもっと積極的に支援すべき。また、国も大学も国民に対して十分に理解が得られるよう説明責任を果たすべきと考える。

- 材料科学、化学、免疫学など、我が国の大学で強みを持った分野のプロジェクトを支援することが、新たな成長につながる研究成果や人材育成に貢献すると思う。このような趣旨の要望であれば、国立大学の運営費交付金を充実することが必要だと考える。

②世界最先端の研究を支える大学共同利用機関の新たな事業展開（158 億円）
（学術情報ネットワークの高度化や南極観測事業の推進等）

（教員、共同利用者）

- 大学共同利用機関の事業は、複数の大学で整備・運営することが非効率な世界最先端の大規模研究施設を共同で整備・運用している。仮に今回の要望が実現されないと、我が国の学術基盤のレベルが損なわれ、全国のユーザーの研究に支障が出ることを懸念している。

関連する諸外国の研究機関の動向を見ても、国家的な学術プロジェクトとして各国が支援している。国際競争の観点からも、今回の要望内容は非常に重要。

③メディカル・イノベーションを担う国立大学附属病院の教育研究の充実強化
（100 億円）

（地域医療を担う医療人育成や新たな治療法開発に向けた環境整備）

（附属病院関係者）

- 医師不足問題、地域医療の崩壊などに対応する教育・研究・臨床を行う大学附属病院の役割は重要。一方で現場は、教育研究の時間は減少し、臨床系の論文数も低下しているなど厳しい状況。

先進医療や治験、医療機器開発など、新たな医療の展開に向けて期待される役割を果たすためにも、今回の要望内容の確保が不可欠。

④サポート体制の強化による教育研究設備の有効活用の促進（222 億円）
（設備の共同利用化と再利用の促進、研究支援者サポート人材の集約化）

（教員）

- 大学の日常的な教育研究活動を支える〇〇〇等の設備のマネジメント等を行う研究支援者・メンテナンスを行う技術支援者などが絶対的に不足している状況。このため、若手研究者や大学院生が教育研究時間を割いて対応している状態。

将来の活躍を期待している若手研究者等の研究時間を確保するためにも、このような要望を実現して欲しい。

- 国立大学法人運営費交付金が削減され続け、設備更新が進んでおらず、老朽化や陳腐化が著しい状況が続いているため、今回の要望内容を実現し、大学の教育研究設備を充実、サポート体制の強化を図るべき。

⑤特別なニーズを抱える学生の受入れ支援強化（50 億円）
（社会人、留学生、障がいをもつ学生等に対する教育研究支援の充実）

（教員、学生）

- 社会人、留学生、障がい学生など、それぞれのニーズに沿った大学の受け入れ態勢を強化することが必要であるが、国立大学の運営費交付金の削減により、十分な

配慮がなされているとは考えにくい状況。

多様なニーズに沿った相談機能、指導体制、情報提供などを充実するためにも今回の要望内容は不可欠。

- 大学の国際化なしに、グローバル化時代の国際人を育成することは困難。日本人学生の派遣、留学生受入れに必要な大学の体制強化を図るべき。
- (学生としては) 在学中に留学をしたいが、相談窓口など大学内のサポート体制が弱いと思うので充実して欲しい。
- 社会人としては、仕事と学習の両立が難しいので、夜間の授業を行ってほしいので、夜間学生向けの講義を積極的に提供する大学への支援を充実してほしい。
- 障がいを持った学生に必要な、補助者、点字・拡大図書等の整備などを充実して欲しい。

◆成長を牽引する教育研究基盤強化（国公立大学共通）（要望額：115億円）

①博士課程教育リーディングプログラム（52億円）

（教員）

- アジア地域の経済一体化が進み、世界的な競争が激化する中、成長分野で世界で活躍するリーダー育成が必要。このままでは、リーダー不在のまま、諸外国の競争から取り残されることを懸念しており、今回のようなプログラムが必要。
- 我が国の成長において、イノベーションを生み出し、社会に新たな価値を創造し、国際社会でリーダーシップを発揮する高度な人材の養成が不可欠であり、世界トップレベルの教育を行う大学院を構築する事業は重要。
- 諸外国では、優れた博士の養成を強化するとともに、グローバルに活動する企業や大学、研究機関などでは、国籍を問わず優れた人材の獲得競争が激化している。日本においても、成長を牽引する優れた人材を輩出するため、大学院を強化することは喫緊の課題。
- 優れた人材を育成するためには、学生時代に、国際経験や企業経験など多様な環境で切磋琢磨させることが重要。一方、運営費交付金が削減されており、学生に多様な経験を積ませるだけの予算が十分ではない中、このような支援が必要。

（産業界）

- 日本を背負って立つリーダーとして、急成長するアジア地域に乗り込んで戦えるような、高い専門性と豊かな教養を備えた博士レベルの者が必要。産業界の声もよく聞いて大学院教育を充実して欲しい。

（学生）

- 世界レベルの教育が受けられ、海外大学での研究や企業での実践経験も積むことができる上、研究奨励金などにより生活に不安なく、学習・研究に打ち込むことができるこのようなプログラムはとても魅力的。

②大学の世界展開力強化事業（30億円）、学生双方向交流の推進（34億円）

（教員）

- 大学間の競争は激化しており、優秀な人材を引き付ける魅力的な教育プログラムの構築が急がれている。世界の大学と協力する上でも、国際水準の教育プログラム

の充実が必要。

- 海外の大学と共同で教育プログラム作りに取り組もうとしているが、これまでの教育・研究水準を下げずに新たな取り組みを行うにはリソースが足りない。
- 学生の海外離れが進んでおり、思い切った対応が必要。
- 経済的な理由で学内の海外プログラム応募者が減っており、日本人学生への支援が必要。
- 学位取得目的で来る留学生への奨学金だけでなく、短期で来日する優秀な学生へのきめ細かな支援が必要。
- 日本の大学、学生のガラパゴス化を食い止め、外国人学生と共に学び、世界で活躍するタフな日本人を育てるべき。

(学生)

- 海外で留学をしたいので、必要な奨学金などを増やして欲しい。また、相談にのって欲しい。
- 短期留学を希望しているが、大学の中で派遣枠を増やして欲しい。